

吉野川上流大規模氾濫に関する減災対策協議会（第6回）

議事概要

1. 開催日時及び開催場所

日 時：令和2年5月29日（金） 14:00～15:15

場 所：Web会議

2. 出席構成員

美馬市長、三好市長、つるぎ町長、東みよし町長、徳島河川国道事務所長、吉野川ダム統合管理事務所長、国土院四国地方測量部長、水資源機構池田総合管理所長、気象庁徳島地方気象台長、徳島県県土整備部長、徳島県西部総合県民局県土整備部長、徳島県西部総合県民局県土整備副部長、徳島県西部総合県民局地域創生部長

オブザーバー

四国電力株式会社（徳島支店）技術部次長

3. 会議の概要

（1）構成機関の取組状況

各構成機関から取組状況について報告を行った。

（2）令和元年度の洪水での課題等に対応するための事項について

緊急速報メールによる洪水情報の提供では、今回の見直しをどのように周知するのか等の意見交換を行った。

（3）「避難の理解力向上キャンペーン」の実施等について

避難場所における新型コロナウイルス感染症への対応について事務局から説明した。

また、徳島県より避難所開設における新型コロナウイルス感染症対策対応方針について資料提供があった。

各市町からは、

「避難所の分散を考えた時に、対応する職員の人手不足をどうするか」「自主防災組織等が高齢化のため機能しない、地域の共助が難しい状況である、市町村を包括する県にも協力をお願いしたい。」「感染の疑いがある方を実際にどういった場所に誘導するのか、どういった形で搬送するのかにも苦慮している」などの意見があった。

（4）「流域治水プロジェクト」検討に向けてについて

気候変動による水害リスクの増大による被害を少しでも軽減する観点から、河川の対応はもちろんのこと、集水域での対策や氾濫域での対策など、従来よりも踏み込んだ対策を総合的に講じる必要があることから、「流域治水プロジェクト」として今後検討を進めていくことを事務局から説明した。

（5）今後のスケジュールについて

取組方針の実施状況の確認と必要に応じてフォローアップを行うため、毎年出水期までに幹事会、協議会を行うことを基本とし、大規模な出水が発生し、情報共有を図る必要がある場合は適宜開催することを事務局から説明し了承された。